

# タピネット

さっぽろしじりつしえんきょうぎかい  
札幌市自立支援協議会

ひがしくちいきぶかい  
東区地域部会

だいごう れいわ ねん がつはっこう  
第26号 令和3年10月発行

じむきょくれんらくさき ひがしくちいきぶかい ほけんふくし課 しゅさ (個別支援)  
【事務局連絡先】東区役所 保健福祉課 主査 (個別支援)

TEL : 011-741-2463 E-mail : higashi-bukai@city.sapporo.jp



ひがしくちいきぶかい へいせい ねん せっち ひがしくちいきぶかい じぎょうしょ はっこう かいご  
東区地域部会は平成21年に設置され、東区障がい事業所ガイドブックの発行、介護

じゅうじしやけんしゅうかい じゅうし ちいきかだい はくくつ かつどう くわ ぜんたいかい  
従事者研修会の実施、地域課題の発掘などの活動に加え、『ふくしまルシェ』や『全体会』

などのイベントを開催してきました。

こんねんど しんがた かんせんしやうかくだいぼうし おも かつどう おこな  
今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、主にオンラインで活動を行っ

ています。今回は、上半期の主な活動内容をご報告します。

## 【札幌市自立支援協議会東区地域部会交流会】

がつ にち すい ごご じ ぶん しんがた りゅうこう の き  
5月26日(水)午後6時30分から、「新型コロナウイルス流行を乗り切るためにで

きること」をテーマにオンライン会議ZOOMにて開催し、障がい当事者や障がい福祉

サービス事業所職員など、28人が参加しました。

はじめに、こたにだいひょう ひがしくちいきぶかうんえいかいぎ せつめい つづ  
小谷代表から東区地域部会運営会議の説明があり、続いてネットワーク

部会、子ども部会の各代表から、各部会の概要や活動内容などについて説明がありまし

た。

ぜんたいはっぴょう しんがた はっせいじ たいおうおよ こ たいさく さっぽろししやかい  
全体発表では、「新型コロナウイルス発生時の対応及びその後の対策」について、札幌市社会

福祉協議会東事業所長の荻野氏から、利用者やヘルパーが陽性者や濃厚接触者になっ

た際の実際の対応事例について発表があり、参加者は真剣に耳を傾けていました。

さいご じゅうご たいおうじれい はっぴょう さんかしゃ しんけん みみ かたむ  
最後に、ブレイクアウトルームを利用したグループ交流会が行われ、6つのグルー

プに分かれて、テーマに沿って自由に意見交換を行いました。



グループ交流会で出た声の一部をご紹介します！

### ★こんないいことがありました！

- 家でゆっくり過ごせるようになった。資格などの勉強時間を取れるようになった。
- 時間ができたことで、利用者さんが散歩などで身体を動かしてくれるようになった。
- オンラインツールの技術が身についた。
- オンラインで遠隔支援ができるようになった。
- 感染者情報が入った場合の対応など、組織内で素早く情報交換できるシステムを構築できた。
- 職員同士の時間が増え、ミーティングをしっかりとできるようになった。
- マスクやフェイスシールド、防護服など、アフターコロナにも役立つ備品を整備した。

### 〇一方でこんな課題も…

- 障がい特性によりマスクの徹底が困難な利用者さんもいて、感染症対策が難しい。
- これまでのようなアクティビティがなかなか実施できず、活動内容が限定される。
- 利用者さんや職員の心のケアや、ストレス解消をするのが難しい。
- 作業量や製品の販売先が減少し、収益が確保できない。
- 子育て世帯のお休みなどが多く、人員確保が難しい。

## 【子ども部会「第10回ウェルトーク」】

7月15日（木）午後4時から、「コロナ禍の変化をポジティブにとらえ

るアイデア」をテーマにオンライン会議ZOOMにて開催し、障がい児

の親や障がい福祉サービス事業所職員、教育関係者など、28人が参加しました。

子ども部会中山代表から、各運営委員に対して、それぞれが現場で感じる変化や新たな取り組みなどについて、インタビューを行いました。

ブレイクアウトルームを利用した交流会では、「コロナ禍でも楽しめたこと」をテーマに、5つのグループに分かれて情報交換を行い、交流を深めました。





インタビューでは、以下のような回答がありました！

【質問①】コロナ禍における変化「携わる業務においての変化」

- ・職員も保護者も、子どもの体調変化に対するアンテナが高くなった。(児童発達支援)
- ・保護者や学校生活にもオンライン会議の導入が広がっている。(障がい者の親と支援者団体)
- ・利用者によっては対面で話したいという方がいて、感染対策が大変。(相談支援事業所)

【質問②】気になる子ども達への影響「あまり良くない影響」

- ・子どもたちがマスクをしているため、細かい表情の変化がわからない。(小学校特別支援学級)
- ・子どもたちが楽しみにしている学校行事や交流学習が延期や中止せざるを得ない。(高等養護学校)
- ・保護者の収入が減って困窮するケースや、在宅ワークなどでストレスを抱えた保護者が家族に当たってしまうというケースがある。(保健師)

【質問③】新たな取り組み「特に良かったこと」

- ・発達の相談やコーチングもオンラインでできるようになった。(臨床発達心理士)
- ・オンライン会議の導入で離れていてもリアルタイムで会議に出席でき、時差出勤などの職員も、録画した会議の内容を確認できるため、職員の質の向上に繋がる。(臨床発達心理士)
- ・密を避けるためバスで通園できなくなった子どもたちに、別の方法で通園してもらったところ、それを楽しんでくれた。(保育園)



札幌市自立支援協議会東区地域部会では、これからも

さまざまな取り組みを行ってまいりますので、ぜひ、ご参加ください。